

しもづる隆央 『選ばれるまち鹿児島市』 マニフェスト 1 1 1 項目

項目	ページ
はじめに	1
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
「稼ぐ力」の向上に取り組みます	3
妊娠・出産、子育てへの支援を充実させます	4
子どもまんなか社会の実現に向けて取り組みます	5
スポーツを中心としたエンターテインメントを促進します	6
若者、女性が活躍できる環境の整備を進めます	6
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
高齢者が主役の選ばれるまちを目指します	7
誰もが主役。ウェルビーイングなまちを目指します	8
選ばれる安心安全なまちを目指します	9
市民に分かりやすい、より便利な市役所づくりを進めます	10
ワクワクする、世界中から選ばれるまち	
国内外から選ばれるまちの魅力を高めます	11
ワクワクする体験を増やします	12
国内外に向け、鹿児島市の魅力を発信します	12
選ばれる持続可能なまち	
環境にやさしいまちづくりに取り組みます	13
持続可能なまちづくりを進めます	13
持続可能な行財政運営に取り組みます	14
物価高騰対策	
市民や事業者の暮らしを守る物価高騰対策に取り組みます	14

## はじめに

私は、市長就任以来、住民自治の原則に立ち、「市民のための市政」を基本に、市民の皆様の信託にこたえるべく、全力で市政運営に取り組んでまいりました。

就任当初は新型コロナから「市民のいのち、暮らし、仕事を守る」ことを最優先に感染防止対策と市民生活や地域経済を支える施策に全力で取り組んでまいりました。

また、待機児童ゼロをはじめとした子育て支援の充実のほか、観光消費額の拡大など地域の稼ぐ力の向上、「書かない窓口」など ICT の活用による市民サービスの向上と業務の効率化等、各種施策を積極的に展開してまいりました。

一方、急速な人口減少や ICT の飛躍的な発展、相次ぐ自然災害など、私たちの暮らしを取り巻く状況は大きく変化してきております。とりわけ、長引く物価高騰は、市民や事業者の暮らしに直結する課題であり、これまでもスピード感をもって、市民生活や中小企業者等の事業活動を支援し、消費喚起・下支えを行ってまいりましたが、引き続き市政の最重要課題として取り組んでまいる所存でございます。

こうした時代の潮流を的確にとらえ、この 4 年間の成果をより実り多きものとしていく中で、すべての方々に住みたい、訪れたいと感じていただける「選ばれるまち」を目指し、本市をさらなる成長へと導き、次の世代に引き継いでいくため、2 期目のマニフェストを作成いたしました。

### その第 1 は、「若い世代、子育て世代に選ばれるまち」です。

若い世代に選ばれるまちであるために、まずは稼ぐ力の向上に取り組みます。若者が、地元で働きたいという希望が叶うよう地域の稼ぐ力を強化するとともに、魅力的で安定した雇用場を確保するために、地域雇用の重要な受け皿である中小企業について、ICT の導入促進や新たな事業展開の支援、地域産業の生産性向上に取り組むとともに、スマート農業の推進や農林水産業の収益性向上に向けた支援を充実してまいります。

また、妊娠、出産、子育てへの支援については、引き続き各面から取組を推進するほか、1 期目に達成した待機児童ゼロを継続するとともに、子どもの医療費については、全額助成を中学生までに拡充し、医療機関での窓口負担をなくします。また、早い段階から健康意識を高めるプレコンセプションケアや子どもが安心して遊べる遊び場の認定に取り組めます。

こどもまんなか社会の実現に向けては、昨年 5 月に制定した「こどもの未来応援条例」に基づき、子どもや若者が意見を表明できる機会を創出するほか、子どもの視点に立った居場所づくりを進めます。また、すべての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、等しくチャンスを得て、夢と希望を持ち、健やかに成長していける社会の構築を目指し、子ども政策の推進に全力を傾注してまいります。

若い世代に本市を選んでいただくためには、魅力ある環境の創出が重要であり、スタジアムの整備に向けて引き続き、県や民間を含めオール鹿児島で取り組むほか、スケートボード等専用施設の整備など、日常的にスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツを中心としたエンターテインメントの促進を図ります。

引き続き男女共同参画の取組を積極的に進めるとともに、アンコンシャスバイアスの見える化など、若者や女性が活躍できる環境の整備に取り組んでまいります。

## 第2は、「高齢者など多くの世代から選ばれるまち」です。

人生100年時代を見据え、高齢者が主役のまちづくりを進めます。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、高齢者の生きがいくつりと社会参画の促進や、安定的な介護サービスを提供できる体制を確保するとともに、認知症の人やその家族を社会全体で支える都市としての宣言を行います。

子どもや高齢者、障害者を含むすべての人々がそれぞれの役割を持ちながら支え合い、地域、暮らし、生きがいを共に作っていく「地域共生社会」を推進し、すべての人が幸せや豊かさを実感できるウェルビーイングなまちを目指します。

また、急速なICTの進展に伴い増加するインターネット差別や誹謗中傷への対策、だれもが安全に楽しめる公園の整備を進めます。

能登半島地震を教訓として、地域防災計画の見直しを行うなど、ハード・ソフト両面から大規模災害に備えた強靱なまちづくりを着実に推進するほか、桜島火山防災研究所を設置し、「大規模噴火でも犠牲者ゼロ」に向け、火山防災トップシティの実現に向けた取組をさらに加速させ、選ばれる安心安全なまちを目指します。

## 第3は、「ワクワクする世界中から選ばれるまち」です

「選ばれるまち」は、「訪れる人の感動と暮らす人の幸せをつくる」視点が重要です。

中心市街地の活性化やまちの回遊性の向上を図るため、鹿児島中央駅や天文館などの交流拠点をつなぎ、歩いて楽しめるまちづくりを推進するほか、桜島や甲突川河畔、風光明媚な海岸線など、本市のオンリーワンの観光資源を生かし、国内外から選ばれるまちの魅力を高めます。

自然や歴史、食や文化を生かした体験型観光の充実を図るとともに、国内外の交流都市の魅力を市民とともに楽しめるイベントを開催するなど、ワクワクする体験を増やします。

DMOによる戦略的なプロモーションを展開するほか、本市の特産品等のブランド化や特産品等を直接販売するECサイトを運営するなど、国内外に向けて鹿児島の魅力を発信するほか、海外からの観光客誘客に対応できる人材の育成や働く外国人の活躍を支援します。

## 第4は、「選ばれる持続可能なまち」です

豊かな自然や都市環境を次世代に引き継いでいくため、廃棄物の減量化や資源化を進め、循環型社会の構築を図るとともに、「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向け、環境にやさしいまちづくりに取り組みます。

安心安全で暮らしやすい住環境の構築を図るため、空き家の適正管理や有効活用を促進するとともに、子育て世帯から高齢世帯まで多様化するニーズに対応する市営住宅の再生を進めるほか、交通事業者等と連携し地域公共交通のネットワーク再構築に向け取り組むなど、持続可能なまちづくりを進めます。

## 最後に

現在、我が国では世界に類を見ない急速なペースで人口減少・少子化が進行し、こうした状況が続くことで労働力人口や消費市場の縮小など、地域社会に深刻な影響を及ぼすことが危惧されています。

本市がこうした人口減少時代を乗り越え、将来にわたって活力を維持していくために、安心安全に生き生きと暮らせる環境づくりや充実した都市機能、魅力あふれる観光資源など、多彩な魅力をさらに磨き上げ、国内外への効果的なプロモーションを展開することで、子育て世代や若者をはじめ、すべての方々が、“住みたい”“訪れたい”と感じる「選ばれるまち」の実現に向けて邁進してまいります。

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
「稼ぐ力」の向上に取り組みます	
1 中小企業振興を推進します	地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、経営力を強化する振興策を総合的に展開します。
2 中小企業の業務効率化・生産性向上のため、ICTの導入を促進します	中小企業の業務効率化・生産性向上のため、事業所への専門家による訪問診断やICTの導入促進のための支援を行うとともに、気軽に最新のデジタル機器やソフトなどに触れられる場を創出します。
3 生産性を上げて、賃金を増やします	製造業・サービス業を中心に、ICT等を活用した生産性向上や販路拡大の取組を支援するとともに、先進事例を普及する取組を進めます。
4 ICT 関連産業振興に取り組みます	ICT産業を鹿児島市の基幹産業に育てるべく、技術者の育成や雇用の受け皿となる企業、個人事業主の誘致、市発注のICT関連調達の地元発注など、総合的に取組を進めます。
5 積極的に起業支援を推進します	起業に必要なことを学ぶセミナー、制度融資、大学等研究機関との連携など、起業支援や起業家育成にかかる取組を積極的に推進します。
6 スタートアップ支援の強化に取り組みます	新規性の高い事業で急成長を目指すスタートアップへの支援を強化します。
7 戦略的な企業誘致に取り組みます	若者の流出を抑制するとともに、中心市街地や地域経済の活性化を図るため、街なかへの情報関連産業のオフィス誘致など、戦略的な企業誘致や誘致後の事業継続に向けたきめ細かな支援に取り組みます。
8 事業者の海外展開を促進します	事業者の海外での販路拡大などを支援し、海外展開を促進します。
9 農産物の付加価値を高め有機農業の振興を推進します	持続可能な農業生産活動を支援するため、有機農業への転換や生産体制の確立、有機JAS認証取得の支援、ブランド化などを行うとともに、生産者と消費者をつなぐコーディネーターを配置するなど、有機農業の振興を図ります。
10 スマート農業を強力的に推進します	「稼げる農業」実現のため、最先端のICTを活用した「スマート農業」を強力的に推進します。
11 持続可能な「稼げる農林水産業」づくりを進めます	持続可能な稼げる農業・林業・水産業づくりに向け、多様な生産性向上の取組を促進するとともに、海外を含めた販路拡大も支援します。

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
妊娠・出産、子育てへの支援を充実させます	
12 こどもを産み・育てる親に寄り添う取組を進めます	産後ケアや相談支援など、こどもを産み・育てる親に寄り添い、妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援に取り組みます。
13 若年者に対するプレコンセプションケアに取り組みます	早い段階から妊娠出産の知識をもち、自分の身体への健康意識を高めるため、中学、高校、大学等での啓発活動を行うとともに、卵巣予備機能に関する検査への助成を行うなどプレコンセプションケアを推進します。
14 親子で楽しめる機会を増やし、子育てに夢と希望を持てるこどもまんなか社会を目指します	こどもの未来応援条例の普及とこどもまんなか社会の機運醸成のため、子育て相談や子育て支援も行う親子が楽しめるイベントの開催など、親子で楽しめる機会を増やします。
15 こどもが安心して遊べる「まぐまっこ asobiba100の認定」に取り組みます	こどもまんなかまちづくりを推進するため、天候に左右されずこどもたちが安全にワクワク遊べる遊び場やこども連れでも入りやすい店舗等を認定し、必要な支援を行います。
16 待機児童ゼロを実現します	保育所等待機児童数ゼロを継続します。また児童クラブの待機児童解消に向け取り組みます。
17 保育士の確保策を講じます	保育士の処遇改善や潜在保育士の復職、保育所等に就職した保育士の奨学金返済に対する支援等に取り組みます。
18 児童クラブの機能向上を図ります	児童クラブにおいて、民間や地域と連携しながら学習環境の向上を図るとともに、補助事業も活用した開所時間の延長を検討するなど、児童クラブの機能向上を図ります。
19 病児・病後児保育体制を整備します	病児・病後児保育の利用実態を踏まえながら、より使いやすい病児・病後児保育の仕組みづくりに取り組みます。
20 こども医療費の負担を軽減します	こども医療費助成制度については、医療費の全額助成の対象を中学生までに拡充するとともに、医療機関等での窓口負担をなくします。

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
こどもまんなか社会の実現に向けて取り組みます	
21 こどもや若者の意見を表明する機会を創ります	こどもの未来応援条例の基本理念に定めている「こどもの権利の尊重」を推進するため、こどもや若者が意見を表明する機会を創出します。
22 こどものためのオンライン相談を開始します	こどもがいつでもどこでも相談できる体制を整えるため、こどものためのチャット相談を開始します。
23 こどもの視点に立った多様な居場所づくりを進めます	こどもの「居場所」に関する実態等を把握し、こどもが安心して過ごすことができる「こどもの居場所」づくりを推進します。
24 家庭環境に左右されない学習機会を提供します	経済的に恵まれない家庭のこどもたちに対する学習支援の充実を図るため、こども食堂をはじめとした「こどもの居場所」における学習支援を進めます。
25 児童相談所の設置に向けた取組を進めます	児童相談所の設置に向けて、施設整備を進めるとともに、人材育成や相談機能などの強化に取り組みます。
26 発達障害の療育支援を行います	発達障害の早期発見・療育に向け、引き続き取り組みます。
27 桜島地域においてこどもまんなかの子育て環境を整えます	桜島地域において桜島学校の整備や幼保一元化を進め、桜島地域の活性化と子育て環境の充実を図ります。
28 IT 関連教育を推進します	情報活用能力の育成やプログラミング教育の実施など、支援スタッフ等のサポートにより、ICT関連教育のさらなる充実に取り組みます。
29 教育DXを積極的に進めます	学校教育において、生成AIを含むデジタル技術の活用をさらに進め、一人ひとりに合った、より質の高い教育に取り組みます。
30 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います	今後の鹿児島を担う青少年の国際感覚を養い、海外との人的ネットワークを構築するため、海外派遣、留学支援を行います。また、実施に当たっては、家庭環境等に左右されないよう募集や選考において配慮します。
31 心を育む教育を推進します	道徳・人権教育やこどもたちの体験活動の充実、不登校児童生徒の自立支援などにより、困難を乗り越え可能性に挑戦する心を育む教育を推進します。
32 小中学校の屋内運動場への空調設備の整備を検討します	酷暑対策として、災害時に避難所として使用される小中学校の屋内運動場への空調設備の導入を検討します。
33 市立高校の振興と環境整備を図ります	市立高校（鹿児島玉龍高校、鹿児島商業高校、鹿児島女子高校）について、ふるさと納税を活用し、より充実した教育環境の整備に取り組みます。

マニフェストの項目	説明文
若い世代・子育て世代に選ばれるまち	
スポーツを中心としたエンターテイメントを促進します	
34 まちに新たな賑わいと活気を生み出すスタジアムの整備に向けた取組を進めます	まちに新たな賑わいと活気を生み出すスタジアム整備に向けて、県や民間を含めオール鹿児島で取り組みます。
35 プロスポーツチームの活動を支援します	本市に拠点のあるプロスポーツチームの活動を支援し、魅力あるスポーツコンテンツによる賑わい創出につなげます。
36 魅力あるスポーツコンテンツの充実を図ります	スケートボード等の専用施設の整備に向けた取組やeスポーツの促進を含め、市民がスポーツを楽しみ親しむとともに、交流人口の拡大とにぎわいの創出につながるようスポーツコンテンツの充実を図ります。
37 街なかでアーバンスポーツを体験できる機会を創出します	スポーツクライミング、3人制バスケ、プレイキンなど、アーバンスポーツを街なかで気軽に体験できるイベントなどを開催し、若者が楽しめる機会を増やします。
38 スポーツ合宿の誘致に取り組みます	民間事業者や教育研究機関等と連携し、プロ、実業団チームや学生の部活などスポーツ合宿の誘致を推進します。
若者、女性が活躍できる環境の整備を進めます	
39 男女共同参画を推進します	女性職員の登用拡大に向けて、積極的な育成や相談体制など必要な環境の整備に取り組みます。また地域や審議会等への女性の参画・登用を積極的に進めます。
40 アンコンシャスバイアスの見える化を進め、職場や地域における女性活躍を推進します	職場や地域などにおける固定的な役割分担意識や無意識の思い込みなど、いわゆるアンコンシャスバイアスの解消を図るため、その見える化を進めるとともに、解消のための取組への支援などを行います。
41 若者や女性が働きやすい職場づくりを進めます	働き方改革や男性従業員の育児休暇取得、女性従業員が出産後も継続して働きやすい職場づくりを奨励するため、効果的な取組を行った事業者の支援を行います。
42 若年層の市内就職定着を図ります	若年層の離職防止のため、奨学金の返済に対し支援を行うなど、人材の確保定着促進の取組を行う事業者に対し支援を行います。

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
高齢者が主役の選ばれるまちを目指します	
43 認知症の人やその家族を社会全体で支える認知症対策を進める「オレンジシティ（認知症を皆で支える都市）」を宣言します	市民、事業者、行政が一体となって、認知症の予防、理解促進を図るため、「オレンジシティ」を宣言し、だれもが幸せに自分らしく生きることができる地域社会を目指します。
44 認知症の早期発見・早期対応に取り組みます	認知症の早期発見・早期対応に取り組み、認知症の人やその家族の視点を重視した支援を推進します。
45 疾病予防・介護予防を促進します	だれもがいつまでも元気に活躍できる社会を実現するため、ICTを活用した通いの場での取組や、フレイル対策等の疾病予防・介護予防を積極的に推進します。
46 介護人材の育成や確保に向けた取組を進めます	介護や支援を必要とする人が安心して安定的な質の高い介護サービスを受けることができるよう介護人材の育成や確保に向けた取組を進めます。
47 高齢者の生きがいがづくりと社会参画を促進します	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと暮らせるよう、生きがいがづくりや社会参画の促進に取り組みます。
48 スマートフォンで高齢者のウェルビーイングを高めます	高齢者の困りごとの解決や健康寿命の延伸を目的に、金融、保険、医療、エンタメなど様々な分野の民間による高齢者サービスをスマートフォンで提供する取組を検討します。
49 高齢者等が安心して住み続けられる住環境を提供します	増加する要支援者の入居支援のためのマッチングを行うとともに、高齢者のより快適な住宅環境への住み替え、空き家の活用を促進します。

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
誰もが主役。ウェルビーイングなまちを目指します	
50 支え合う地域づくりを推進します	地域共生社会の実現に向け、地域福祉に関する意識醸成や関係機関の連携強化を図り、支え合う地域づくりを推進します。
51 相互に支えあい、人と人との「つながり」が生まれる社会を目指します	孤独・孤立対策推進法に基づき、人や場所、コト（催し）などを活用して、孤立しがちな人の居場所や活動の場を広げ、誰もが暮らしやすい社会の構築を目指します。
52 障害者の地域生活の支援をさらに推進します	障害者の方の日常生活上の困難改善や、自立支援、社会参加促進のための取組をさらに推進します。
53 持続可能な地域社会を形成するため、ダイバーシティの推進を図ります	国や人種、性別、障害の有無、年齢、価値観などの違いに関わらずそれぞれの個性や能力を最大限に発揮できる社会を目指します。
54 インターネット差別・誹謗中傷被害者支援条例を制定します	インターネットでの差別や誹謗中傷をなくし、安心してインターネットを利用できる環境を整えるため、被害者支援条例を制定します。
55 健康診断受診率を向上させます	特定健診やがん検診など健康診断受診率を向上させるため、効果的な受診勧奨や普及啓発を行うとともに、受診しやすい環境を整えるなど、受診者に対するさらなる取組を進めます。
56 動物殺処分ゼロを継続します	殺処分ゼロを継続するため、飼い主への終生飼養の啓発などによる収容数のさらなる減少に向けて取組を進めます。
57 5地域の魅力や活力を創出する取組を進めます	吉田・桜島・喜入・松元・郡山の各地域について、「地域と共に創るまちづくりプラン」に基づき、地域の魅力向上や賑わいを創出し、地域の活性化を図ります。
58 だれもが安全に楽しめるインクルーシブ公園の普及に努めます	こどもや高齢者、障害者等、だれもが使いやすいトイレや公園施設のバリアフリー化、遊具等のユニバーサルデザイン化など、インクルーシブ公園の整備を進めます。
59 多文化共生の地域づくりを進めます	市民と外国人が互いの文化を認め合い、いきいきと安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを進めます。

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
選ばれる安心安全なまちを目指します	
60 能登半島地震の教訓を踏まえた防災対策を強化し、災害に強いまちづくりを進めます	能登半島地震の教訓や課題を踏まえ、防災対策の見直しを進め、ハード、ソフト両面から大規模災害に備えた強靱なまちづくりを着実に進めます。また、家屋の部分的な耐震工事や防災ベッド等設置への支援を行います。
61 様々な状況に合わせ避難所の質を確保します	災害時の避難所について、高齢者や障害者、乳幼児等の要支援者やペット同行避難など、避難者それぞれの状況に合わせた質の確保・向上に取り組みます。
62 防災力のICTの強化を図ります	大規模災害時の速やかな状況把握や避難者の安全確保を迅速に行うため、官民連携による災害用ドローンの活用など防災DXを進めます。
63 市民との協働による防災対策を推進します	災害時の避難行動の理解促進や自主防災組織の育成など、市民と協働しながら防災体制を充実します。
64 桜島火山防災研究所を設置し、火山防災トップシティを推進します	大規模噴火においても犠牲者ゼロを達成できるよう、防災研究等を行う桜島火山防災研究所を設置し、防災対策の積極的な情報発信に取り組みます。
65 救命救急体制の充実・強化を図ります	急増する救急搬送への需要対策のため、救命救急体制の充実に取り組みます。

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
市民に分かりやすい、より便利な市役所づくりを進めます	
66 市役所へのお問い合わせに対し、A Iチャットボットを導入します	市への問い合わせに対し、いつでもだれにでも迅速に回答できるよう、また、在住外国人、観光客からの問い合わせにもスムーズに対応できるようA Iチャットボットを導入します。
67 町内会回覧板デジタル化など、コミュニティの維持充実を図ります	町内会、地域コミュニティ協議会等の活動支援や回覧板等のデジタル化など負担軽減に取り組み、住民主体のまちづくりを促進し、コミュニティの活性化を図ります。
68 市民サービスの向上と行政運営の効率化を図るため、DXの取組をさらに進めます	ICTを積極的に政策に取り入れ、行政手続きのデジタル化など、市民サービスの向上と行政運営の効率化をさらに進めます。
69 生成A Iの活用推進と運用の安全性を高めます	生成A Iの活用を推進するとともに、運用にあたっては、情報管理や著作権侵害などが起こらないようガイドラインを定めるなど運用の安全性を高め、業務の効率化や市民サービスの向上を図ります。
70 鹿児島市内全域で「市長と語る会」を開催します	市民の皆様には市政の動向をしっかりとご報告し、またご意見を伺い施策に反映させるべく、鹿児島市内全域で「市長と語る会」を開催します。
71 市立病院の機能を強化し、利便性の向上を図ります	I C Tの活用により、患者の満足度向上を図るとともに、病棟を増築し、感染症対応力を強化します。

マニフェストの項目	説明文
ワクワクする、世界中から選ばれるまち	
国内外から選ばれるまちの魅力を高めます	
72 アミューズメント機能の充実を図ります	平川動物公園遊園地・錦江湾公園のリニューアルや桜島で自然体験ができる場の創設など、観光イベントや観光施設の魅力向上に取り組みます。
73 歩いて楽しめるまちづくりを進め、街なかのにぎわい創出を図ります	街なかへの出店等の促進や、イベントへの支援、再開発事業の推進などにより、歩いて楽しめるまちづくりや都市機能の強化に取り組み、街なかのにぎわいを創出します。
74 市民や観光客の憩いの場としての甲突川の魅力向上を図ります	甲突川河畔の千本桜の復活や夜間ライトアップのほか、周辺施設と連携したイベントの充実など、市民や観光客が憩える場として魅力向上を図ります。
75 鹿児島アリーナのエンタメ化を進め、魅力向上を図ります	鹿児島アリーナの機能を高めるため、デジタルサイネージの導入などエンタメ化を進め、臨場感あふれる施設にリニューアルし、様々な人々が楽しめる交流拠点となるよう魅力向上を図ります。
76 海岸線を活かしたまちづくりを進めます	磯新駅の開業に合わせて、磯ビーチハウスに民間力を導入し、カフェやマリンスポーツなど年間を通じて楽しめる観光資源とするほか、同地区への商業施設の出店を促すなど周辺エリア全体での魅力向上を図ります。
77 市電沿線の魅力を生かした「トラムでめぐるまちづくり」を進めます	市電沿線の特色あるエリアや、様々なラッピング電車、軌道敷緑化など市電の魅力を観光素材として発信し、その魅力を最大限に生かした「トラムでめぐるまちづくり」を進めます。
78 歴史的建造物をユニークベニューとして活用します	異人館、美術館、市役所本館など歴史的建造物等をイベントや団体向けに貸し出しを行うユニークベニューの取組を進めます。
79 桜島に人が集まるさまざまな仕掛けに挑戦します	桜島地域の活性化や桜島フェリーの利用促進、関係人口の増を図るため、官民連携による空き家や学校跡地の活用、桜島学校等での短期受入体制の整備など、体験交流の機会の創出を図ります。

マニフェストの項目	説明文
ワクワクする、世界中から選ばれるまち	
ワクワクする体験を増やします	
80 体験型観光を進めます	インバウンドや修学旅行者等をターゲットに観光素材の高付加価値化を図るとともに、自然や歴史、食や文化の魅力を生かした体験型観光の充実を図ります。
81 市民とともに交流・連携都市との交流を深めます	国内の交流・連携都市と協働し、各市の特産品や食の魅力を楽しめる催しを開催し、市民とともに各市との交流を深めます。
82 国際交流都市の魅力を広げるおごじょプロジェクトを創設します	国際交流都市の魅力を市民に感じていただくため、女性の視点を生かしたおごじょプロジェクトを設置し、国内外から広く観光客や関係人口の来訪を促す取組を推進します。
83 クルーズ船の経済効果を高めます	さらなる増加が見込まれるクルーズ船の受け入れ体制の強化や本市の魅力をより実感していただける寄港地観光の充実を図り、地元への経済効果を高めます。
国内外に向け、鹿児島市の魅力を発信します	
84 戦略的なマーケティング・プロモーションを展開します	DMO(観光地域づくり法人)によるマーケティングや西郷隆盛生誕200年などを契機とした効果的なプロモーションを展開します。
85 国際会議・各種大会の誘致を進めます	国際会議や各種大会(全国大会など)の誘致へ向け、補助金の創設、誘致に向けた立候補の支援など、積極的な支援を行います。
86 本市の宝を「マグマシティブランド」として認定します	鹿児島市のモノ・コト・バショをブランド認定し、高付加価値化を図り、広く市場にプロモーションすることで、鹿児島市の魅力を国内外に分かりやすく発信します。
87 ふるさと納税の寄付額増に向けた取組を進めます	魅力的な返礼品の掘り起こしや効果的なプロモーションを展開するとともに、民間の知見やネットワークを活用し、寄付額の増に向けた取組を進めます。
88 ECサイトによる本市特産品の販路拡大を図ります	特産品を直接販売するECサイトを運営し、本市特産品の魅力を広くPRするとともに、ふるさと納税の寄付額増や製造業者の「稼ぐ力」を高めます。
89 関係人口の創出とつながりの強化を進めます	市外在住の鹿児島市出身者をはじめとする、本市の人や地域に想いを寄せて関わる人材を創出し、つながりを強化します。
90 本市への移住を促進します	移住希望者の多様なニーズに対応した、きめ細かな情報提供や相談、支援により本市への移住を促進します。
91 インバウンド対応の観光人材の育成に取り組めます	海外からの観光客誘客に対応できる人材育成を進めます。
92 働く外国人の活躍を支援します	人口減少社会において、貴重な働き手となる外国人労働者の就業環境の向上や人材確保を図るなど、外国人の活躍を支援します。

マニフェストの項目	説明文
選ばれる持続可能なまち	
環境にやさしいまちづくりに取り組みます	
93 カーボンニュートラルに向けた脱炭素地域づくりを進めます	「ゼロカーボンシティかごしま」の実現を目指し、本市のGXを推進するため、市民・事業者の脱炭素に向けた取組を総合的に進めます。
94 再生可能エネルギーの地産地消を推進します	太陽光発電やゼロカーボン電力の利用拡大などにより、再生可能エネルギーの地産地消を進めます。
95 エコスタイルへの転換を進めます	環境学習等による環境問題への理解や脱炭素行動を促進するなど、市民や事業者のエコスタイルへの転換を推進します。
96 3Rを推進します	食品ロスの削減やプラスチックの資源循環への取組を進め、3Rを推進します。
持続可能なまちづくりを進めます	
97 空き家への対策を強化します	空き家の実態を把握するとともに、空き家の解消や活用に向けた実効性のある対策を強化します。
98 市営住宅再編によるサステナブルなまちづくりを進めます	市営住宅の再編（建替え・集約）による余剰地を早期活用し、こどもから高齢者まで、多様な世代が交流を深め、支え合う、災害にも強い集合住宅を整備します。こどものプレイパークの導入など、子育て世帯の入居を促進します。
99 団地再生を推進します	高齢者の生活に必要な施設の誘導・整備や、若年層への住み替えの促進、地域交通の確保など、今後居住者の高齢化が予想される団地において、暮らしやすい環境を保てるよう、団地再生を推進します。
100 老朽化した建物の建て替えを促進し、中心市街地の活性化を図ります	中心市街地における老朽化した建物の建て替えを促進するため、要件緩和や建て替えのための支援を行い、魅力ある都市空間を創出します。
101 土地区画整理事業を推進します	現在進行中の事業を着実に進めるとともに、田上地区での整備手法の検討を進めます。
102 渋滞対策を総合的に推進します	市道の既存道路を活用した渋滞緩和の取組を進めるとともに、関係機関と連携して渋滞対策を総合的に進めるため、渋滞対策基本計画を策定・推進します。
103 市民の足を守る、持続可能な交通ネットワーク形成に取り組みます	交通事業者等と連携し、バス、タクシー、市電等、公共交通手段の総合的な対策を講じ、交通結節点の機能充実など、地域公共交通ネットワークの再構築を進め、持続可能な公共交通ネットワークの形成に取り組みます。
104 路面電車観光路線について、引き続き検討します	路面電車観光路線については、周辺エリアの状況を見極め、費用対効果の検証などに取り組みます。

マニフェストの項目	説明文
選ばれる持続可能なまち	
持続可能な行財政運営に取り組みます	
105 「持続可能性」を重視しSDGs の取組を進めます	市の施策・事業をSDGs (Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標) の考え方にに基づき整理するとともに、特に「持続可能性」を重視しSDGs の取組を進めます。
106 効率的、効果的な市有財産の管理、運営と有効活用を進めます	将来負担の軽減・平準化を図るため、公共施設の更新、長寿命化や配置の適正化などを計画的に進め、統廃合、複合化を推進します。 また、未利用財産については、地域活性化を視野に民間との連携を含め、効果的な活用を進めます。
107 公共施設への民間力の投入を促進します	公共施設の有効利用や魅力向上のため、指定管理施設の民営化や民間の独自事業の導入のほか、公共財産の民間への譲渡など、公共施設への民間力の投入を促進します。
108 官民連携と民間人材の積極登用を進めます	民間力を市政の課題解決に生かすため、より一層の官民連携の推進に向け包括連携協定の締結を進めるとともに、専門的な知見が特に必要とされる分野について、民間の専門人材の活用を進めます。
109 若手職員の活用・活躍を推進します	若手職員によるプロジェクトチームを設置し、重点プロジェクトの企画、実施を行うなど、若手職員の能力開発と活躍の場を広げます。 また、若手職員の職務能力の向上や能力開発の強化、エンゲージメントの把握等による人を育てる人事管理など、本市が直面する課題に対応できる人材育成を進めます。
110 より効果的効率的な政策立案・実施に取り組むとともに、市政の透明性を確保します	EBPM (データに基づく政策立案) を推進し、成果志向型でより効果的な政策の実施と評価に取り組むとともに、既存事業の見直しなど効率化を進めます。 また、市の様々な施策・事業に関する情報や統計データ等の情報公開を進めます。

マニフェストの項目	説明文
物価高騰対策	
市民や事業者の暮らしを守る物価高騰対策に取り組みます	
111 物価高騰対策に適切に取り組みます	不安定さを増す国際情勢などから物価高騰が続いており、その影響を特に受けている市民や事業者に寄り添った対応について、国の交付金等を活用し、適切に取り組みます。